

令和 5 年度宇治市産業振興会議（要旨）

日 時	令和 6 年 1 月 29 日（月） 10:00～12:00
場 所	宇治市産業会館 1 階 多目的ホール
出席委員	白須正（会長）、川勝健志（副会長）、西村嘉高、徳永興輝、斉藤洋子、椎葉啓之 計 6 名
議事要旨	<p>1 開 会</p> <p>2 会議の公開について 委員に会議公開について諮り了承。</p> <p>3 議 事 （1）宇治市産業戦略 改訂版 具体的な取組内容とその進捗状況 事務局から取組の柱【（1）（2）】、【（3）（4）】、【（5）（6）】ごとに進捗状況について説明</p> <p>■ 取組の柱【（1）（2）】 委員 ・BCP 策定のための支援について、一通り済んでいる印象。 ・女性が活躍しやすい環境づくりについて、新たな支援施策はあるか。</p> <p>（事務局コメント） ・今回、産業振興会議の開催の時間帯について、女性の委員も参加しやすい午前中に設定した。 ・創業セミナーや異業種交流イベントについて、男女共同参画課の共催で実施し、男女問わず参加してもらえるよう取り組んでいる。</p> <p>委員 ・経済成長には技術進歩と労働力人口増加が必要である。特に女性の労働力人口を上げる必要がある。男女共同参画に向けて、産業振興会議の女性の委員を増やすべき。</p> <p>委員 ・ゼロゼロ融資の返済が今年度ピークを迎える。経営状況が回復していない事業者の資金繰りの悪化が懸念される。宇治 NEXT には、引き続き積極的な企業支援活動をお願いしたい。 ・京都中小企業家同友会では、65 歳以上の経営者の割合は約 25%で</p>

ある。事業承継支援について、地道に経常的に取り組んでいく必要がある。

(事務局コメント)

- ・次の後継者候補をターゲットにしたアトツギ支援も行っており、今後も様々な角度から事業承継、アトツギ支援に取り組んでいきたい。

委員

・女性の目線から申し上げると、商工会議所の多くの会議は夜に開かれる。参加しやすい時間に変更したり、子供同伴でもいい空気があればありがたい。また、学校や地域の役員も女の人しかいない状況なので、男性が半分くらい参加してもらえるような街になればいいと思う。

(事務局コメント)

- ・男性が主体的に家事や地域に関わっていくことで、女性がさらに活躍できる社会になると思う。

委員

- ・経営改善や事業再生にも支援を広げてほしい。
- ・京都中小企業家同友会の 10%が女性経営者だが、産業振興会議の委員について、会議のイメージが堅いのか受けてもらえない。
- ・京都中小企業家同友会の 120 社中 80 社ほどの企業は、BCP 策定以前に、経営計画書・事業計画書ができていない。BCP の事業計画書ができていないのは 8 社だけである。

(事務局コメント)

- ・BCP 策定に人を割けないという課題を耳にしている。次年度以降、より BCP 策定が進むよう検討していきたい。
- ・事業再生の支援、経営改善支援について、商工会議所の相談窓口で対応しているので、利用してほしい。

委員

- ・ゼロゼロ融資の返済が始まるため、可能な限り焦げ付きが起これないよう、支援を行っていくことが重要である。
- ・資料の「R4・5 に実施した事業についての検証（成果）」について、

	<p>各項目に指標を設けたほうが、より精緻な検証を行うことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報発信の効果の検証について、大学でも行っている。相談してもらえれば、検証方法について紹介できると思う。</li> <li>・企業立地助成金のように量的拡大に対する支援も重要であるが、生産性向上のためのリノベーションを支援する助成も必要である。</li> </ul> <p>(事務局コメント)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・効果的な周知の方法について、相談させてもらいながら、引き続き検討していきたい。</li> <li>・生産性の向上に対する支援については、課題と捉えている。</li> <li>・指標に関しては次回以降、どのような形で示すことが出来るか、引き続き検討したい。</li> </ul> <p>■ 取組の柱【(3)(4)】</p> <p>委員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・WEBを活用した雇用・就労支援について、費用対効果は。</li> </ul> <p>(事務局コメント)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・製造業を対象に企業PR動画作成事業を行い、12社から応募があった。業務委託費用として396万円、企業負担は1社あたり2万円と設定した。すでに自前で動画を作成している、動画を作った後の活用方法が分からないなどの理由により、当初は応募企業が想定より少なかった。来年度、取組の方向性も含めて見直し、人材不足の解消につなげていきたい。</li> </ul> <p>委員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・うじ魅力FES in QUESTIONにおいて、新たに事業者と事業者の取引は生まれたか、成果事例は。</li> </ul> <p>(事務局コメント)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・暖簾などの染め物を作っている企業が出展企業の暖簾を作成した事例や、革製品を作っている企業と靴磨きをしている企業がつながり、革製品のリペアを依頼するようになった事例を聞いている。</li> </ul> <p>委員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(3)「人材不足への対応」に「設備投資への支援」という項目があ</li> </ul>
--	---

るが、位置付けることがふさわしいのかどうか分からない。

・ライフステージに応じて家をリノベーションするように、企業も状況に合わせたリノベーションが必要。そのような変更やデジタル化をサポートするような柔軟な支援ができるといいだろう。

・ジェンダーに関する意識は、大学生と我々の世代との間で大きく異なる。いわゆる Z 世代の学生が社会に出ることで、おのずと変わっていくだろう。就活生は企業選びの基準として、ジェンダーへの取組を重要視するようになってきている。また、自分の時間をいかに有効に使えるかといったタイムパフォーマンスを重視しており、人材採用に大きく関わってくる。「人材不足への対応」にそれらの柱を新たに建てることも重要である。

・産学連携について、中小企業と大学等との共同研究・共同開発のハードルが高いという話をよく耳にする。例えば、理系自然科学専門の先生が学生を連れて、事業者を訪問し、技術参与・アドバイスをするような、これまでよりも緩やかな関わり方がいいのではないか。

・女性の参画に関して、多様性はイノベーションの源泉になる。女性が経営面にタッチすることにより、消費意欲を喚起するアイデア等を出す側面もあるだろう。女性の参画を積極的に促す環境を整えていくことが重要である。女性の参画に関して、柱立てをすべきだろう。

#### ■ 取組の柱【(5) (6)】

##### 委員

・宇治ブランドの向上について、海外から来る旅行者向けに何か新しいことができればいい。

・小倉の任天堂資料館が新たにできることで、人が増えると思う。

##### (事務局コメント)

・コロナが収束し、インバウンドが増えてきている状況であり、海外での情報発信など、様々な取組を行っている。

・任天堂資料館については、多くの人に宇治を訪れてもらう大きなポイントであると考えており、小倉地域から中宇治地域へどのように誘導していくか検討している。

・大河ドラマ「光る君へ」に関して、ドラマ展など、様々な取組を行い、全国に発信できるよう進めていきたい。

	<p>(2) 新たな経済への脅威に対応した取組の報告 事務局から取組を報告。</p> <p>(3) 産業用地創出に向けた取組の進捗報告 事務局から進捗状況を報告。</p> <p>(4) その他 特になし</p> <p>4 閉 会</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
--	---